

論述試験（大学院入学試験）

注意

1. 試験開始の合図までに、この注意をよく読んで間違いのないようにして下さい。
2. 試験開始の合図があるまで、問題を開かないで下さい。また解答用紙は机の上に裏返しにしておいて下さい。
3. この問題の本文は1ページです。落丁、乱丁、印刷不鮮明などの箇所がある場合は申し出て下さい。
4. 解答は解答用紙の所定の場所に記入して下さい。解答用紙は2枚配布します。選択した問題ごとに解答用紙1枚以内で解答して下さい。
5. 解答用紙については「入学志願票」で希望したプログラムに応じて選び、どの問題に解答したかを○で囲んで示して下さい。解答した問題が示されていない場合は点を与えないことがあります。
6. 文字ははっきり書いて下さい。解答の文字が読みにくい場合は点を与えないことがあります。
7. 2枚の解答用紙の両方に受験番号を必ず記入して下さい。
8. 解答用紙の評点欄、答案番号欄には何も記入しないで下さい。
9. 問題冊子の白紙のページは答案の下書きに使うことができます。

問題は次のページより始まります。

論述試験問題

共通問題1問と選択問題（〔1〕～〔4〕）から1問、計2問について、それぞれの問いに日本語で答えなさい（選択問題は、「入学志願票」で希望したプログラムに応じて選んで下さい）。問題ごとに解答用紙1枚以内で解答しなさい。

2枚の解答用紙の両方に受験番号を記入し、解答した問題を○で囲みなさい。

共通問題〔全員が解答すること。〕

いわゆるコロナ禍のあと、世界各地でオーバーツーリズムといわれる観光客の増加が再び問題となっている。この事象につき具体的な事例を一つ取りあげ、その課題と解決策についてあなたの意見を述べなさい。

選択問題〔以下の〔1〕～〔4〕より1問選択して解答すること。〕

〔1〕〔「アートマネジメント」プログラム〕

近年、ますます盛んになってきている「文化財返還運動」につき、具体的な事例をあげ、あなたの専門分野における動向とそれについてのあなたの考えを論じなさい。

〔2〕〔「国際協力」プログラム〕

集中豪雨による洪水、干ばつ、異常な高温、それらに伴う山火事など世界各地で自然災害が近年、ますます増加している。そのような自然環境の悪化に対処するためにどのような国際協力をなすべきか、あなたの考えを述べなさい。

〔3〕〔「日本学・比較文化」プログラム〕

日本文化の特徴を西洋文化（または自国の文化）との相違点の観点から、具体的な例を示しながら論じなさい。

〔4〕〔「国際関係・地域研究」プログラム〕

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）によると、2023年5月現在、279,274人の外国人留学生が来日している。2022年同期に比べて20.8%も増加した。とりわけ、中国、ネパール、ベトナム、韓国、ミャンマーなど、アジアからの留学生がその多くを占めている。一方、日本の教育機関も学生の海外留学を積極的に奨励している。こうした活発な留学生移動がアジア地域の平和と発展にどのような貢献を果たすことができるか、あなたの見解を述べなさい。

論述問題 解答用紙

受験番号				
------	--	--	--	--

評点	
----	--

[共通問題]

[illegible]

答案番号		
------	--	--

論述問題 解答用紙

受験番号				
------	--	--	--	--

評点	
----	--

〔選択問題〕 解答した問題に○： [1] ・ [2] ・ [3] ・ [4]

[illegible]

答案番 号		
----------	--	--

小論文 出題の意図

入 試 年 度： 2025（令和7）年度

入 試 名 称： 大学院（9月期）論述試験

入試実施日： 2024（令和6）年9月13日

※この「出題の意図」についての質問、照会には一切回答しません。

共通問題と選択問題から構成される。

共通問題では、研究科全体に共通するテーマについて学力をはかる内容とし、解答により知識、論理力、記述力を判定する。今回は、現在世界各地で問題となっているオーバーツーリズムの問題を取りあげ、その現状と課題を問い、基本的な知識、論述力を考查した。

選択問題では、「入試志願票」で希望したプログラムに応じた問題とし、より専門的な教育を受けるために必要な知識、論理力、記述力を判定する。

〔1〕アートマネジメントでは、先進国から途上国に対する文化財返還運動を取りあげ、この問題ならびにその歴史的背景についての理解と論述力を考查した。

〔2〕国際協力では、地球規模で生じている気候変動の問題に対して国際協力の果たす役割を問い、この領域の基本的問題に対する理解の度合いと論理構成力を考查した。

〔3〕日本学・比較文化では、日本文化の特徴を西洋文化もしくは自国の文化との対比において論じる出題とし、この領域における着眼の独自性と論述力・思考力を考查した。

〔4〕国際関係・地域研究では、留学生交流に関する現状とその可能性に関する出題とし、この領域の知識と問題に関する理解の深さを問う問題とした。

以上